

【国語】

- ◆試験時間は50分
 - ◆傾向・設問形式は昨年と同じ
 - ◆説明的文章と物語的文章（あわせて7800字程度）
 - ◆100字以下の記述問題を2問程度（配点高い。部分点あり。必ず挑戦を！）
トメ・ハネは見ない 誤字・脱字は減点
 - ◆言い換え・原因理由・空欄補充
 - ◆漢字は本文より問題（トメ・ハネも丁寧に）「美しさ」より「丁寧さ」
本文より独立した選択肢の設問を出題
- ### 【ワンポイント・アドバイス】
- ◆50分間の使い方 時間配分が大切
 - ◆記述、選択肢問題に対する解法の確立が大切
本文中から答えとなる文を発見しよう
記述すべき事柄は必ず3つ程度ある
選択肢を分割して考えてみよう
 - ◆平成17年以降の過去問が大切

【算数】

- ◆試験時間は50分
 - ◆大問6題 設問数は14題程度
 - ◆計算問題
 - ◆図形やグラフをフリーハンドでかく問題 線は太く丁寧に書く
 - ◆空間図形に関する問題
 - ◆読解力が試される問題
 - ◆コンパス・定規・分度器は必要ありません
- ### 【ワンポイント・アドバイス】
- ◆計算力→毎日計算練習をする
 - ◆典型問題をよく練習する
 - ◆空間図形は展開図を出題 立方体より複雑な多面体
 - ◆仮分数はOK 割り切れないときは分数で答える
 - ◆過去の問題をしっかりと勉強しましょう

【社会】

- ◆試験時間は40分
 - ◆配点：第1問（30点）原始古代～近現代の歴史総合問題（米がテーマ）
第2問（40点）近現代歴史と公民の融合問題（政治・外交・憲法がテーマ）
第3問（30点）地理総合問題（災害がテーマ）
 - ◆記述問題も出題
- ### 【ワンポイント・アドバイス】 ◆問題数は約50問
- ◆「漢字で答えなさい」などの指示に従うこと
 - ◆記述問題が各大問に1つある
50～70字程度 部分点あり 設問の要求は何か、それに答える
 - ◆時事問題を気にするよりも苦手な分野の復習を！
 - ◆出題形式に大きな変更はないので過去問をしっかりとやること

【理科】

- ◆試験時間は40分
- ◆全分野からの出題
- ◆大問7題、設問数30題前後
 - 物理2 化学2 生物2 地学1
 - 力の問題 溶液の問題は必ず出題
- ◆計算問題は必ず出題 小数で答え、割り切れない計算にも慣れておくこと
- ◆説明問題
 - (長い文章での説明ではないので、簡潔に表現、的確にまとめる 部分点なし)

【ワンポイント・アドバイス】

- ◆平均点が60点になるように作成
- ◆計算を楽しみ、論理を楽しむ
- ◆過去問を研究する

【帰国生入試】

- ◆出願資格
 - ①2015年3月小学校を卒業見込の者
 - もしくはこれに準ずる学校を卒業見込の者
 - ②海外における滞在期間が1年以上で、帰国後受験まで3年以内の者
- ◆試験日程・科目
 - 2015年12月12日(土)
 - 試験科目：英語A・英語B
 - 国語(1500字程度の説明文を300字程度に要約、文法など日本語運用能力を問う)
 - 算数(第1回入試と同様の出題傾向 標準的な問題中心)
 - 2016年1月20日(水)
 - I型の試験科目 国語・算数・社会・理科
 - *国語・算数・理科・社会の問題は一般入試と同じ問題
 - II型の試験科目 国語・算数・英語A・英語B
 - *国語・算数の問題は一般入試と同じ問題

【ワンポイント・アドバイス】

- ◆英語A(40分)
 - 長文読解問題2題：英検2級程度
- ◆英語B(40分)
 - 英作文：スペル、文法ミスは減点対象 文章の整合性、論理展開をみる

【中学第1回(メッセ)入試注意事項】

- ◆会場には時計がありませんので、時計を持ってきて下さい。
- ◆トイレはたくさん準備してあります。
- ◆鉛筆でもシャープペンでもOKです。
- ◆休み時間には気分転換のために飲食しても構いません。
- ◆保健室も用意してあります。
- ◆保護者控え室もあります。
- ◆退場は受験番号順になります。全体の退場は約35分ぐらいです。
 - お子様と待ち合わせ場所を決めておいて下さい。

